



# 元気なまち 花巻市の復活を目指して

任期満了に伴う花巻市長選挙は1月21日に告示され、上田東一氏のほかに届け出がなかったため無投票となりました。

1月28日、選挙会が行われ同氏を当選人として決定。

1月29日、奥山隆市選挙管理委員会委員長から当選証書が付与されました。

市民の期待を担う上田市政、2期目のスタート。  
就任に当たり、上田市長からごあいさつ申し上げます。

市長就任以来、市政の重点項目として▼産業振興が図られ、仕事と賑わいのあるまち▼子育て・教育環境が整い、子どもがたくましく育つまち▼必要な医療や福祉サービスが受けられ、安心して暮らせるまち▼豊かな文化が薫り、スポーツ活動が活発なまち▼緑豊かな自然環境が守られ、災害への備えを怠らないまちの5点を掲げ、その実現に向けた財源を確保し、さまざまな取り組みを進めてきました。

## 市街地の再生と地域医療の充実

平成28年6月に「立地適正化計画」を全国で3番目に策定しました。花巻地域、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域のそれぞれの中心地における医療・生活・商業のサービス機能を維持していくことを基本とする同計画。その中で花巻地域の中心部を「都市機能誘導区域」に指定し、国の支援事業を特に活用しながら整備を進めます。

## 通渋滞の解消を目指します。

本市や北上市の立地企業が製品輸送などに要する時間の短縮を図るため、東北自動車道花巻パーキングエリアに接続するスマートインターチェンジ整備を検討。関係機関との協議を継続します。

架け替え工事を進めている豊沢橋は、現在、橋桁を架ける工事を行っており、本年8月末の供用開始に向け、引き続き事業を進めます。

## 市民と共に市政を推進

市の財源が限られる中、国の補助金のほか、元利金の償還財源として国の地方交付税による多額の財政支援を受けられる合併特例債や過疎対策事業債、辺地対策事業債などの有利な財源を活用。国の支援を受けながら将来の市民負担を最小限にとどめ、市の持続的な発展を目指し、「選択と集中」により事業を進めていく必要があります。

そのためには、私をはじめ、市職員が市民の皆さまの意見をよく聞き、市政に取り入れていくことが、これまで以上に必要であると考えております。今後4年間、市民の皆さまの支援をいただきながら市政を進めていきます。

この計画に基づき▼地域医療の中核を担ってきた総合花巻病院の移転支援▼エセナ跡地への広場整備▼みなし仮設住宅に避難している被災者を対象とした災害公営住宅の整備▼子育て世帯を対象とした地域優良賃貸住宅の整備▼新花巻図書館の建設場所と施設機能などを具体化した移転新築計画の策定▼JR花巻駅の橋上化の可能性の調査―など、国の支援も受けながら事業の推進を図ります。

## 産業振興で仕事と賑わいのあるまちづくり

花巻産の米やリンゴなどの農産物は、首都圏などからも高い評価

## 市民の声に耳を傾け「選択と集中」で持続的な発展を目指す

を得ています。市の基幹産業である農業の振興に向け、取り組みを引き続き実施。

農地の有効活用を図るとともに、ICT(情報通信技術)を活用した生産コストの抑制に対する支援などを行います。

観光分野では、県内唯一の空港「いわて花巻空港」の利用促進を図るため、県をはじめとした関係機関と連携し、一丸となった取り組みを実施します。海外からのチ

## 子育て支援の充実

子育て世帯の経済負担のさらなる軽減を図るため、中高生を対象とした医療費助成制度の創設を検討します。

待機児童を解消するため、公立では県内初となる小規模保育園の整備を進め、3歳未満児の受け入れ体制を拡充します。不足する保育士の確保策として、保育士に対